



変化する社会の中で**自律**していく生徒の育成「みんなで100点チーム西中」

# 「てとてとて」

高鍋西中学校だよりNO6 令和5年9月6日

文責 黒木 倫徳

## 2学期が始まりました！

38日間の夏休みが”あつ”という間に終わり、8月28日（月）から2学期が始まりました。

夏休み中には、他県において小学生の水難事故や部活動を終えた下校途中の女子中学生が熱中症の疑いで亡くなるなど、痛ましい事故の報道が数多く入ってきました。本当にご冥福をお祈り申し上げます。お陰様で、本校では無事2学期を迎えることができました。夏休み中には、中学校総合体育大会において、ジュニアラグビー部が九州大会（Bパート）において優勝を勝ち取り、硬式テニス部3年生の尾田・沼口ペアが県大会でベスト4に進出し、九州大会に出場するなど輝かしい成績を収めてくれました。おめでとうございます。

始業式では、4名の代表生徒が自分自身や学年、学校の実態を踏まえながら、2学期の決意をわかりやすく発表してくれました。有言実行を期待しています！

### 【代表生徒の主な内容】

1年 山田仁子さん

- 気持ちの良い、ハツラツとした明るい気持ちになるあいさつを心掛ける。

- 合唱コンクール、体育大会に全力で取り組む。

- 個人練習にもしっかり励む。



3年 檜室朝耀さん

- 学習態度の改善に努める。（タブレットの使い方や私語）

- 団結力を高め学校行事を成功させる。

- 生活のリズムを整える。

- 最高学年を意識し後輩の手本となる。



2年 土屋瑠偉さん

- 定期テストで10番以内を目指す。

- 体育大会ではW優勝を目指す。

- 修学旅行を全力で楽しみ学び多い時間にしたい。



生徒会 黒木梓帆さん

- 授業態度の改善は西中全体の課題である。

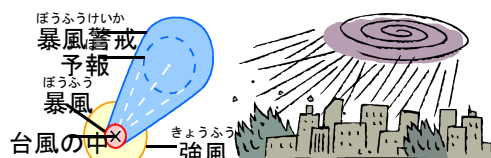
- 当たり前のことを当たり前にやる。

- 当事者意識を持って、自分にできることをしっかりやる。



2学期の始業式も様々な理由からリモートによる式といたしました。本校でもコロナ禍を機に、タブレット端末を含むICT（情報通信技術）の活用がかなり進んできております。コロナの感染レベル引き下げに伴い、様々な活動等が緩和されてきておりますが、すべてをコロナ禍前に戻すのではなく、今回のようなリモートによる式や授業をはじめ、会議、諸行事の在り方などを含め、これからの教育活動を模索していく必要があると考えております。

## 台風を含む風水害への注意を！！



今年もすでに台風13号が発生しております。夏休み中の台風6号や7号には本県をはじめ全国の多くの人々が、多大な被害や迷惑を被りました。9月に入りましても、毎週のように台風が発生しています。加えて、「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」といった気象用語も珍しいワードとなりました。先日の31日（木）の通学時間帯のすさまじい風雨には、正直驚かされました。ずぶ濡れになりながら登校してくる生徒にあらためて感心したところではありますが、あのような気象状況の中で登校してくることは、非常に危険を伴うことであると反省したところです。

そこで、学校といたしましては、学校からの登校に関する連絡（臨時休業や自宅待機等）がなくても以上のことを各学年で指導しておりますので、今後の対応の参考にしてください。

- ◇ 登校時の通学に際して、危険を回避する必要があると保護者や本人が判断した場合は、自主的に登校を見合わせたり引き返す。
- ◇ 登校時に濡れる場合は、体育の服装等で登校して、学校に着いて制服に着替えるなどして構わない。（着替えやタオルを準備してくる。）
- ◇ 自宅待機等で遅れる場合は、必ず学校へ連絡する。  
以上のことを各学年で指導しておりますので、今後の対応の参考にしてください。

## 関東大震災から100年～巨大災害再来に向け備えよ～

※ 宮崎日日新聞の9月1日付「社説」を抜粋して掲載いたします。

- ◇ 死者・行方不明者約10万5千人を出した関東大震災から9月1日で100年。国内の自然災害史上、最悪の犠牲者数だ。揺れによる建物崩壊、大規模な火災、津波、土砂災害が重なった複合災害だった。
- ◇ この100年間に、国が「大震災」と呼ぶ災害は3回発生した。それぞれの犠牲者の死因に特徴がある。阪神大震災の多くは家屋倒壊や家具転倒による圧迫死だった。2011年の東日本大震災は、ほとんどが津波による溺死だ。関東大震災は9割近くが火災による犠牲者だった。
- ◇ しかし、地震時の火災は様相が異なる。同時多発で出火するので消防機関の限界を超える。倒壊した建物が道路をふさぎ、消防車両が現場に着けない場合もある。市民による初期消火が必要だが、高齢化が進み地域の防災力は低下している。
- ◇ 地球温暖化に伴い、近年は非常に発達した台風や豪雨による災害も目立つ。
- ☆ **本県もこれからが本格的な台風のシーズンです。日頃からの十分な備えと防災・減災の意識を学校や家庭・地域と共に高め、一つの「命」を大切に守りましょう！！**



